

### 総括 (全34項目)

全34項目のアクションプランについて、実行支援チームを編成し、それぞれのプランの目標の達成を目指して取り組みを進めている。第4期計画期間中は、新型コロナウイルスの感染拡大により、各分野の取り組みは大きな影響を受けてきたが、感染状況の落ち着きとともに、明るい兆しも見えてきた。特に、水産分野では水産加工施設の整備により、養殖魚の加工体制の構築及び地元雇用の創出が図られた。また、観光分野ではアウトドア志向を追い風に、観光資源の磨き上げ・体験メニューの造成や仁淀ブルー体験博の開催による流域の魅力向上、加えて、「まきのさんの道の駅・佐川」の開業、NHK連続テレビ小説「らんまん」効果もあり、流域内の宿泊者数や観光施設への入込客数が増加した。今後とも、市町村等と連携し、各地域アクションプランの取り組みの改善や見直しを行うことで、雇用の創出や所得の向上を目指す地域主体の取り組みを後押しする。

### これまでの取り組みの成果等

#### ◎各分野の取り組みの成果と今後の方向性

##### ■農業分野

###### <成果>

- ・環境制御技術や糖度センサーの導入により、トマトの品質向上や収穫量の増加につながり、青果とともに加工品の販売も好調で販売額を伸ばしている。
- ・「オムライス街道」イベントの取り組みにより、県内外へ日高村産トマトを周知する仕組みが構築され、交流人口の拡大や移住者の増加につながった。

###### <今後の方向性>

- ・日高村産トマトのブランド力の強化や生産拡大に向けて、講習会や巡回指導などによる栽培技術の向上や環境制御技術の導入促進、経営指導などによる農業経営体の育成・確保に取り組む。

##### ■林業分野

###### <成果>

- ・佐川町と森林所有者との契約による施業地の集約化が進み、地域おこし協力隊の積極的な採用による自伐型林業の担い手確保及び卒業後の定着につながった。

###### <今後の方向性>

- ・山林所有者への山林の集約化のアプローチを継続的に実施し、管理契約済みの林地についても施業方法の検討を進め、施業地を確保することで自伐型林業の担い手を確保・育成する。

##### ■水産分野

###### <成果>

- ・うるめいわし等の加工品開発、販路開拓などにより販売額が増加した。
- ・水産加工施設の整備により、養殖魚の加工体制の構築及び地元雇用の創出につながった。

###### <今後の方向性>

- ・うるめいわし不漁時における他魚種を使用した加工品の販路拡大、販売促進による経営の安定化に取り組む。
- ・養殖魚を使った顧客ニーズに合った商品開発や、国内外の展示会への出展や国内外の商社等との連携による販路拡大に取り組む。

##### ■商工業分野

###### <成果>

- ・いの町では、中心市街地活性化計画のもと、空き店舗への家賃補助や創業支援ワンストップ窓口対応などに取り組み、新規開業数が増加した。
- ・農福連携による水耕栽培施設との連携により、カット野菜の原料確保につながった。

###### <今後の方向性>

- ・活用可能な空き店舗の発掘及び中心市街地活性化の実現及び持続可能な体制づくりのため、人材の発掘・育成に取り組む。
- ・カット野菜のロングライフ化技術の導入による近畿・関東圏への販路拡大を目指す。

##### ■観光分野

###### <成果>

- ・広域観光組織を中心に流域の事業者が一体となって取り組む「仁淀ブルー体験博」の開催による体験メニューの磨き上げ・造成や観光タクシープランの造成・販売、バスツアー助成などにより、域内の周遊促進につながった。また、NHK連続テレビ小説「らんまん」効果により、域内の宿泊者数や観光施設への入込客数が増加した。

###### <今後の方向性>

- ・域内の周遊ルートの形成やインバウンドを見据えた観光資源の磨き上げと観光ガイドの育成など受入体制の構築、オーバーツーリズム対策を講じ、「滞在型観光」推進による交流人口の拡大、観光消費額の増による地域経済の活性化に取り組む。

#### ◎地域アクションプランによる雇用の創出 (R2~R4) 15人

### 主な取り組み事例

#### No.3 日高村まるとブランド化

地域:日高村

実施主体:日高村、JA高知県(仁淀川地区)、JA高知県日高支所ハウス園芸部会、(株)イチネン高知日高村農園、日高村商工会、(特非)日高わのわ会、(株)霧山茶園、(株)村の駅ひだか



取り組みの内容  
・農業経営体への栽培技術・経営指導  
・トマト加工品の開発・販売  
・「オムライス街道」イベントなどによる情報発信

主な成果  
・農産物等販売額:⑩5.4億円→④7.09億円→⑤7.23億円(見込)

・オムライス販売数:⑩55,475食→④52,535食

今後の方向性  
・栽培技術の向上及び労働力の確保による農業経営体の確保・育成

・日高村アグリネットワークと連携した特産品等の開発、販売促進  
・「オムライス街道」イベントの事業者等による自走化に向けた支援

#### No.10 宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化

地域:土佐市

実施主体:企業組合宇佐もん工房



取り組みの内容  
・県内外飲食店でのうるめいわしの鮮魚や加工品の製造販売  
・他魚種を使用した商品開発、販売  
・ふるさと納税返礼品の開発

主な成果  
・販売額  
⑩:9,084万円→④:1.25億円

今後の方向性  
・うるめいわし不漁時における他魚種加工品の販路拡大、販売促進による経営の安定化

・商談会や新規展示会への出展  
・企業とタイアップした商品開発

#### No.18 仁淀川町における(株)フードプランを核としたカット野菜事業 クラスタプロジェクト

地域:仁淀川町

実施主体:(株)フードプラン、仁淀川町、生産者団体、庭先集荷の農家

取り組みの内容  
・水耕栽培施設(R5.3月本格稼働)との連携による原料確保  
・カット野菜のロングライフ化技術導入の検討  
・端材野菜を活用したドレッシングの開発等

主な成果  
・販売額  
①:7.4億円  
→④:8.8億円

今後の方向性  
・原料供給体制の強化  
・カット野菜のロングライフ化技術の導入による販路拡大  
・端材野菜を活用したドレッシングの開発・販売



農業 林業 水産業 商工業 観光 ※○囲み数字は時点を表す(例)令和5年度=⑤

#### No.9 佐川町における自伐型林業を核とした産業づくりと地域の活性化クラスタプロジェクト

地域:佐川町

実施主体:佐川町、自伐型林業やものづくりに取り組む個人・団体

取り組みの内容  
・地域おこし協力隊の採用(自伐型林業、発明ラボ)  
・林地(施業地)の集約化  
・放課後発明クラブの開催

主な成果  
・山林の集約化面積  
⑩~⑩累計:225ha  
→②~④累計:369ha

今後の方向性  
・林地の集約化による施業地の確保  
・地域おこし協力隊など自伐型林業の担い手の育成  
・簡易製材機を利用した低質材の活用促進  
・学校や地域と連携したものづくり人材の育成



#### No.15 いの町中心市街地の活性化

地域:いの町

実施主体:いの町、いの町商工会

取り組みの内容  
・中心市街地活性化協議会による第1期活性化計画アクションプランの検証・見直し  
・第2期中心市街地活性化計画の策定  
・商店街での新たなイベントの開催  
・空き店舗活用への家賃、店舗改修補助

主な成果  
・新規開業数  
⑩~①累計:15事業所  
→②~④累計:12事業所

今後の方向性  
・中心市街地活性化計画の推進体制の強化  
・活用可能な空き店舗の発掘及び創業支援の充実  
・イベント等開催によるにぎわいの創出



#### No.31 越知町の総合的な観光振興と地場産品の販売促進

地域:越知町

実施主体:越知町観光協会、おち駅物販経営協議会、越知町、JA高知県(仁淀川地区)など

取り組みの内容  
・物販経営協議会での経営状況や課題等の協議  
・横倉山自然の森博物館の改修、HPの開設  
・横倉山トレッキングツアーガイド養成研修会の実施  
・OTAを活用したトレッキング、カヌー等のツアーの販売

主な成果  
・おち駅:⑩1.0億円→④1.08億円  
・博物館:⑩6,507人→④9,470人  
・カヌー・ラフティング:⑩1,694人→④1,830人

今後の方向性  
・おち駅物販経営協議会での経営状況や課題への対応策の協議  
・ふるさと納税返礼品の開発  
・周辺市町村との連携、周遊ルートの形成  
・SNS等を活用した情報発信による認知度向上、誘客促進



# 仁淀川地域アクションプラン 実行3年半の取り組みの総括（案）（2/2）

## 第4期計画で設定した数値目標に対する評価

R5数値目標に対するR5年度末見込みまたは直近の実績の達成状況により5段階評価を実施

※1つの地域アクションプランで複数の数値目標を設定したものもあるため、下記の件数と地域アクションプランの数とは一致しない

区分	数値目標に対する評価基準	件数	構成比
S	数値目標の達成率 110%以上	8件	14.3%
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満	5件	8.9%
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満	16件	28.6%
C	数値目標の達成率 70%以上85%未満	13件	23.2%
D	数値目標の達成率 70%未満	14件	25.0%
評価計		56件	100%
—	実績値がまだ出ていないなどの理由で現時点の評価ができないもの、または目標の設定がないもの	6件	

## 主な支援策の活用状況(R2~R4)

① 高知県産業振興推進総合支援事業費補助金	2事業	97,334千円
② 高知県観光拠点等整備事業費補助金	3事業	32,055千円
③ 高知県観光施設等緊急整備事業費補助金	7事業	146,049千円
④ 専門家の派遣（産業振興アドバイザー事業）	24件	120回



○本川手箱きじ飼育処理加工施設  
改修 R2.11月落成  
地域AP No. 5  
R2年度産振補助金

○茶加工品製造施設の整備  
R4.3月 完成  
地域AP No.19  
R2~3年度産振特別支援  
補助金

○道の駅・佐川の新設  
R5.6月25日開駅  
地域AP No.21  
R4年度産振補助金

## 課題の克服やさらなる成果の拡大に取り組む主な重点項目

項目	見えてきた課題・方向性	さらなる挑戦
<b>No.2 漢方薬の原料となる薬用作物の作付け拡大と生産性の向上による仁淀川流域産地の振興</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミシマサイコについては、近年は買取業者が、2年間栽培した収穫物を要求していたため、収益を得られるまでに2年要することや、2年栽培用品種の種子発芽率が低かったことから、作付け面積が減少していた。</li> <li>・サンショウについては、病害等による樹勢の低下と高樹齢化した園地の改植が課題となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎生産者と関係機関等が協力して課題に取り組み、生産拡大を図る。</li> <li>・ミシマサイコは、種子の前処理により2年栽培用品種の種子発芽率向上。また、買取業者が2年栽培の要件の緩和や買い取り価格の引き上げによる作付け面積の増</li> <li>・サンショウについては、主要な病害であるさび病の防除の徹底や礼肥の施肥、剪定指導の徹底により樹勢の維持を図るとともに、台木用種子の発芽率向上技術の検討、改植や新植のための苗木の確保による生産量の維持・拡大</li> </ul>
<b>No.5 本川手箱きじの販路拡大</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商談会への積極的な参加や、高知県地産外商公社の紹介等により、新規取引開始は増えているが、フェアなどスポット的な取扱いも多く、継続的な取引につながっているものが少ない。</li> <li>・きじの食材としての認知度がまだまだ低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎生産から販売まで関係機関が連携して取り組むことで、売上増加を目指す。</li> <li>・営業力強化による販路拡大と既存取引先との取引継続</li> <li>・安定した生産体制の確保</li> <li>・他産地との連携による、食材としての認知度向上</li> </ul>
<b>No.21 道の駅を拠点とした「ごちそう佐川」プロジェクト</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営組織「(一財)しあわせづくり佐川」の人員体制が確保されていない。</li> <li>・オリジナル商品であるバウムクーヘンの製造が人手不足に加え、製造に時間がかかるため安定した数の製造、販売に苦慮している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎関係機関との連携による観光客の町内周遊を促進する。</li> <li>・運営組織の体制づくり</li> <li>・道の駅に訪れた観光客がその後、佐川町内の観光地等を周遊させる仕組みづくり</li> <li>・道の駅の核となるオリジナル商品（バウムクーヘン）のブランド化及び販路拡大（高知県中心部や都市部への進出を目指す）</li> </ul>
<b>No.29 仁淀川町滞在交流型観光の推進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の観光スポットの多くは、景観を楽しむのみで地域での滞在時間が短く、観光客の周遊性も低い通過型の観光で地域内消費につなげていない（収益性が低い）</li> <li>・観光客増加による交通渋滞や駐車場、トイレ不足、河原の混雑、ゴミや迷惑行為などのマナー違反などオーバーツーリズム対策が必要になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎関係機関が連携し、滞在型観光への転換を推進する。</li> <li>・周遊ルートの形成</li> <li>・観光客の受入体制の整備</li> <li>・情報発信・プロモーションの強化</li> <li>・キャンプ場（吾川スカイパーク、星が窪キャンプ場）の施設運営にかかる指定管理者制度の導入</li> <li>・岩屋川渓谷を生かした滞在交流型観光施設の整備等</li> </ul>
<b>No.34 日高村能津地区における交流人口の拡大と地域の活性化</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・能津地区内の体験施設等が増加してきており、今後は地域内連携による一層の魅力発揮が必要となっている。</li> <li>屋形船の運航開始（H24） 能津集落活動センターミライエオープン（R3） 錦山満天星キャンプ場の整備（R3） 精油製造施設稼働(R5.4)体験観光予定(R5秋)</li> <li>・外国人旅行者が増加しており、外国語対応などの受入体制整備が必要となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎地域の関係事業者が一層連携し、地域全体として交流人口を拡大し、外貨を稼ぐ仕組みを強化する。</li> <li>・地域の体験観光施設や飲食店が連携した旅行商品の造成・販売の推進</li> <li>・能津地域で新しい取り組みをはじめようとする事業者への支援</li> <li>・国道194号線から能津地区へ誘客する看板の整備</li> <li>・インバウンドに対応した利用案内や案内表示の整備などの受入体制の整備</li> </ul>